

震災対策のしおり

<ワールドビジネスガーデン>

株式会社ザイマックス

<2022年4月現在>

1. 地震が起きたら

地震が起きた場合、以下の対応をお願いいたします。

1. 揺れを感じたら

まず、安全な場所で揺れがおさまるのをおまちください。

●事務室・店舗の場合

机やテーブルの下にもぐる他、カバン等で頭部を守るなど身体の安全確保をはかってください。また、ロッカーや本棚など、転倒や落下物のおそれのある什器類から離れてください。

●エレベーターの場合

地震発生時には、エレベーターは自動的に最寄階に停止します。扉が開放されたら直ちにカゴの外に避難し、エレベーターホールで身を低くして待機してください。

※エレベーターに閉じ込められた場合、保守点検会社によるエレベーター復旧作業後に救出いたします。

※緊急地震速報(震度5弱以上)を受信した場合、中・高層用エレベーターは、実際に地震が起きる前に自動的に最寄階に停止いたします。

●建物付近の場合

揺れている間は無理に建物内に避難しようとせずに、なるべく広い場所で頭部を守ってしゃがみ、揺れが収まった後、余震に備え建物内に避難してください。

2. 揺れがおさまったら

火災防止のため、火元の点検をお願いします。

万一火災を発見したら初期消火及び通報をお願いします。

※各階廊下等に消火器・屋内消火栓・非常電話があります。

※初期消火ができないときには「119」及び「サービスセンター」へ通報し、直ちに避難してください。

3. けが人への対処

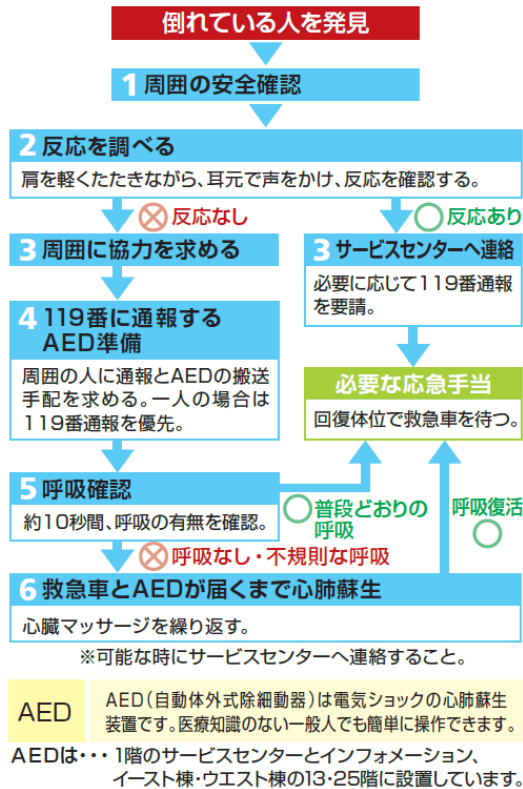
けが人の救出救護は、早期対応が重要となります。救出救護活動にご協力願います。

●大規模地震発生時は、119番連絡も繋がらず、繋がったとしても救急車両の到着が困難な状況となります。ビルスタッフも初動対応等ですべての要請への対応が難しい事が予測されます。その為、テナント様毎に搬送や応急手当など行えるよう、備蓄品の備えとあわせて、日頃より応急処置等を習得して頂くようお願いいたします。

●ビルスタッフで対応できる場合でも、救護品の提供と応急手当のみとなります。また、怪我人の状況や人数によっては対応できない場合もありますので自助活動をお願いします。


●避難補助が必要な方や怪我をされた方を安全に避難階へ誘導できるよう、階段避難車「イ

「バック・チェア」をイースト・ウエスト棟の5階毎にそれぞれ設置しています。



回復体位(かいふきたい)

呼吸はあっても意識がない人や起きられない人は、回復体位にして救急車を待ってください。

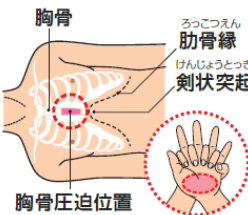


①横に向かせる
②下顎を前に出す
③上側の肘と膝を軽く曲げる

仰向けやうつ伏せは吐物が気道に詰まって窒息する可能性があります。

心臓マッサージ(心肺蘇生)


十分な強さと速さで、絶え間なく圧迫する



胸骨 肋骨縁 剣状突起

胸骨圧迫位置

強さ 胸が5cm沈むまで
速さ 10秒で17回のテンポ



出血時

清潔なガーゼや布で傷口をおおって圧迫するか、出血が多い場合は、出血部より心臓に近い動脈を指などで押さえつけて、一時的に血の流れを止める方法があります。

腕や足をいきなり布で締め上げるようなことは控えてください。この方法は止血が困難な場合の最後の手段です。

4. ビル使用の制限

震災後のビル使用については二次災害を防ぐため、ザイマックス及びサービスセンターの指示に従ってください。

震災の状況により入館規制をする場合もありますので予めご了承ください。

5. 避難について

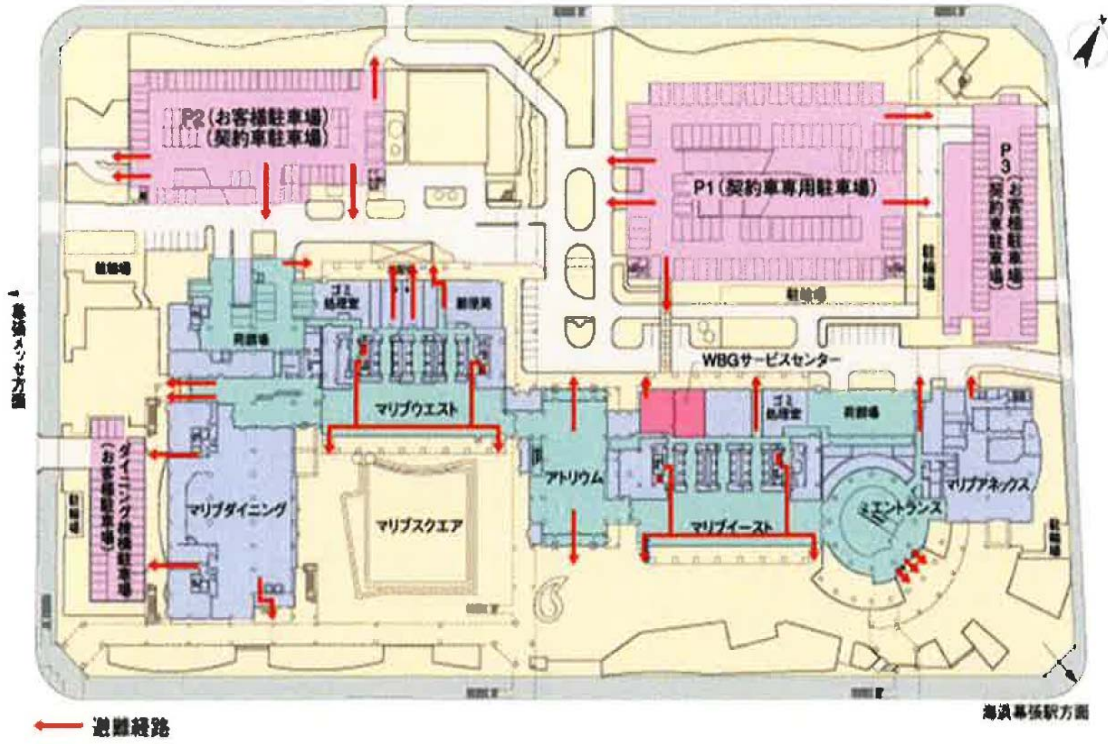
避難は必要な場合にのみ行って下さい。

次の要件に該当する場合、在館者の安全確保のため全館避難を行いますので非常放送で指示いたします。「押さない」「走らない」「話をしない」「戻らない」を守り、非常放送での避難誘導に従って行動してください。

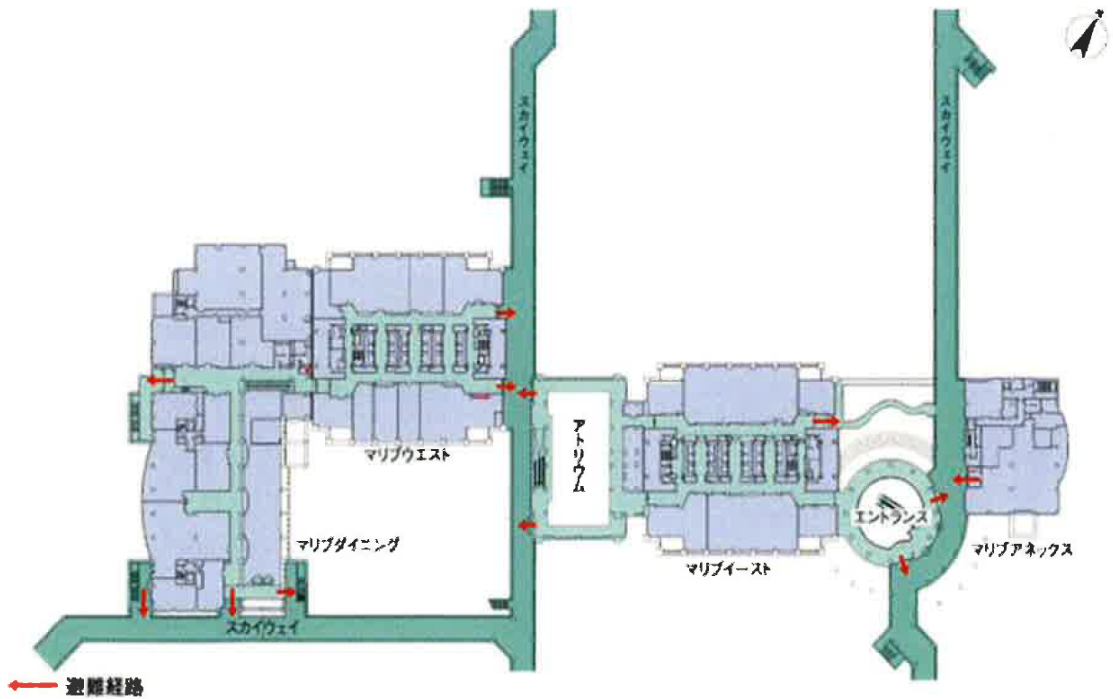
- ・被災度判定システムで建物構造躯体に危険性が認められた場合。
- ・火災等により全館避難の必要があると判断した場合。

● 避難経路

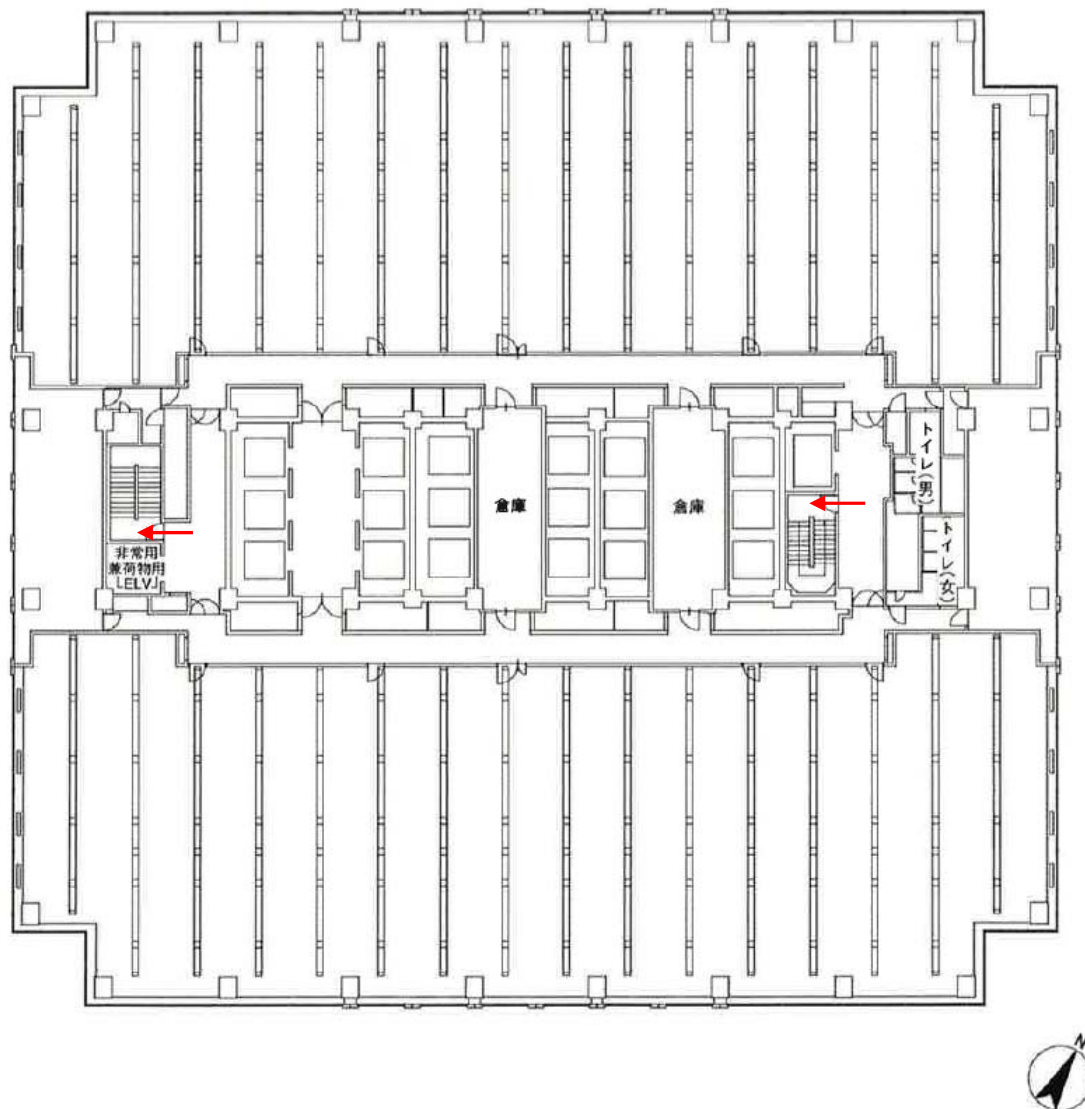
・1階 避難経路



・2階 避難経路



・基準階 避難経路



●避難場所

一時避難場所：ワールドビジネスガーデン マリブスクエア(芝生のところ)

広域避難場所：幕張海浜公園



凡 例	
	市 域 ・ 区 界
	町 界
	丁 目 界
	公 園 ・ 緑 地 等
	公 共 施 設 等
	学 校
	郵 便 局
	警 察 署(交 番)
	消 防 署(出 張 所)
	病 院
防 災 情 報 関 連	
	広 域 避 難 場 所
	避 難 場 所
	避 難 所
	津 波 避 難 ビル
	災 害 医 療 協 力 施 設
	臨 時 ヘ リ ポ ー ト
	防 災 行 政 無 線 設 置 場 所
	井 戸 付 耐 震 性 貯 水 槽 ・ 非 常 用 井 戸
	防 災 井 戸 協 力 の 家
	ろ 過 浄 水 機 等
	浄 水 場
	耐 震 性 貯 水 槽
	拠 点 備 蓄 倉 庫 ・ 分 散 備 蓄 倉 庫

●エレベーター使用禁止

避難階段内は煙が充満しにくい構造になっていますので避難は階段で行ってください。エレベーターは強制帰着し、使用禁止となります。なお、非常用エレベーターは消火活動や救助活動および階段での避難が困難な方の避難に使用しますので、一般の皆様の避難には使用できません。

●防火扉閉鎖

出入口扉とエレベーターホールの防火扉を閉め、廊下に設置する排煙口開放装置を作動させ、避難階段に通じる経路への炎と煙の進入を遮断してください。

●火災の際には低姿勢で

火災の際には、煙を吸わないように、低姿勢で口や鼻をハンカチ等で押さえて避難してください。透明ビニール袋に空気を入れ、頭からかぶったり、口にあてることで、煙を吸わないで避難できます。(窒息の危険性があるため、使用には注意が必要です。)

●避難後の確認

避難が完了しましたら、各テナント様の避難誘導の担当者は安全を確認して、必ずサービスセンター係員にご報告ください。その場にはいない方や、怪我をされている方にお気づきになったら、直ちに確認担当者またはサービスセンター係員にお知らせください。

6. 情報の入手

震災後のビル情報につきましては、ビルに掲示される情報をご覧ください。

緊急時の連絡先は「3. お問い合わせ先」をご覧ください。

2. お客様にお願いしたいこと

震災時に備えてテナント様側でも、以下の対策をお願いいたします。

◆震災体制の整備

- 警戒宣言発令時、又は地震被害発生時に速やかに対応出来るよう、お客様の社内で震災対策組織を編成し、役割分担を定めておきましょう。

◆訓練の実施

- 防災意識を高め、年1回は訓練を実施しましょう。
- ビルの防火・防災管理協議会に参加しましょう。
- ビルの消防訓練・防災訓練にも参加しましょう。

◆備蓄の実施

- 医薬品、食料、水、非常用設備などの非常用品をお客様の規模・従業員数に応じて準備しましょう。
- 貴重品・重要書類等の非常持ち出しを準備しましょう。

◆救護資格者の養成

- お客様自身で応急手当は出来るよう、救護資格者を、従業員数に応じて養成しましょう。

◆オフィス内の安全確保

- 什器・備品等の転倒・落下防止対策を取りましょう。
- 消火器等の消火設備の設置場所や取扱方法を確認しましょう。
- 避難通路を確保しましょう。

◆広域避難場所、公共機関の確認

- 当域の広域避難場所を確認し、従業員に周知しましょう。
- 消防・警察・区役所などの公共機関の連絡先を確認しておきましょう。

3. お問い合わせ先

○運営窓口

株式会社ザイマックス

千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1 マリブウエスト棟 34 階 WBG オフィス

TEL: 043-297-3105

FAX: 043-297-1363

○管理会社

会社名 株式会社ザイマックス

所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1

マリブイースト棟 1 階 WBG サービスセンター

連絡先 TEL:043-297-3100 FAX:043-297-1361

※24 時間受付対応

4. 建物性能

○構造概要

竣工：1991年10月

構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
地上35階、地下1階、塔屋2階

施工会社：鹿島建設

設計基準：本建物の設計は日本設計、鹿島建設が行っており、昭和56年に改正されたいわゆる「新耐震基準」に基づいた建物となっております。

※新耐震基準とは

比較的頻度の高い中地震(震度4~5、80~100ガル)に対しては、外装、外壁、設備等にひび割れ、破損等の被害をほとんど生かせず、極めてまれに起こる大地震(震度6程度、300~400ガル)に対しても、重要な損傷がなく、建物の崩壊・倒壊を防ぎ、人命の安全を確保できる構造。

○被災度判定システム

災害時に地震の揺れの速度と幅を計測して建物の変形角を推定し、建物の構造の被災度を判定します。通常は数日以上を要するこの判定も10分程度で判定が可能です。

[建物被災度判定システムの構成]

